

高倉塚古墳(府中市)

ここを右手に行くと「遺跡高倉塚」へ至るようだ



これが高倉塚ならぬ高倉塚古墳/円墳/6世紀前半の築造/説明坂がある/北側から見たところ



北西側から見たところ/隣の建物で削られてしまっている





高倉塚古墳

高倉塚古墳は、高倉塚山頂上に築かれた古墳である。古墳の構造は、前方後圓形古墳の一種である。古墳の規模は、全長約100メートル、幅約40メートルである。古墳の周囲には、石製の埴輪が埋まれている。古墳の築造年代は、古墳時代前期の末葉である。古墳の出土品には、埴輪、土器、銅器などがある。古墳の位置は、高倉塚公園の西側にあり、公園の中心地から約100メートル離れた場所にある。

高倉塚古墳



高倉古墳群の内、赤丸が現存している



府中市指定文化財(市史跡)

高倉塚古墳

平成13年10月30日指定

府中崖線(ハケ)の斜面上に広がるこの周辺には、これまで確認されている古墳が25基あり、これらは高倉古墳群と呼ばれています。このうち墳丘が残っているものは4基あり、この高倉塚古墳は古墳群の中心に位置しています。古来より「高倉塚」と呼ばれ象徴的な存在だったことから中世以降には信仰の対象として保存されてきました。

これまでの発掘調査で、墳丘構築工法が判明し、墳丘下層から6世紀前半とされる土師器坏が出土するなどの学術成果があり、高倉古墳群を研究するうえで貴重な資料となっています。

なお、付近の古墳群からは、土器・直刀・鉄鏡・玉類が出土し、昭和の初め頃に出土した銀象嵌大刀を含む大刀5振は、平成6年2月に市の文化財に指定されています。

国内でも数例しかない上円下方墳の武蔵府中熊野神社古墳など、ぜひこの周辺の古墳を散策してみてください。

平成17年3月

府中市教育委員会

さて、墳丘に登ってみよう



墳頂が平らに整形されている





振り返って北方向を見下ろしたところ



これは南方向を見下ろしたところ



その南側に下りて墳丘を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



西側はこのように墳丘が削られている



東側もこんな塩梅



もう一度道路側から見たところ/住宅に囲まれながらこれからも存在していくのであろう



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/t_tamak_takakura/

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2014/10/16/120200>

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/kirari/sagasu/theme/miryoku/takakuradukakofun.html>

<http://gogohiderin.blog.fc2.com/blog-entry-3.html>

<https://blog.goo.ne.jp/kurihira201/e/fdc98f53460b4ea745d365afd93b3b77>

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12313676186.html>

